

所在地	施設名	設置・運営	事業方式	開設時期	敷地面積	延床面積	収容人数	総工費	コート	主な用途など
群馬県大田市	OPEN HOUSE ARENA OTA	公設・民営		2023年		10,611㎡	5,000人 1階1752席 2階2793席+車いす26席 ボックス・ラウンジ129席	82.5億円 (うち44億円は企業版 ふるさと納税)	(メイン) バスケット：国際基準1面、市民利用3面 バレー：国際基準1面、市民利用3面 バド：12面 (サブ) バスケット：1面、バレー1面、バド4面 (全て市民利用)	群馬クレインサンダーズ (B) ホームタウン、運営会社は同チームの子会社
千葉県船橋市	Lala arena TOKYO-BAY	民設・民営		2024年4月	約20,000㎡	約31,000㎡	約11,000人			千葉ジェッツふなばし (B1) ホームアリーナ 運営会社はMIXI (千葉Jの親会社) と三井不動産が出資 サブアリーナ約720㎡
神奈川県横浜市	横浜BUNTAI	公設・民営	BTO方式	2024年4月	10,057㎡	(アリーナ約2,560㎡)	約5,000人	約221億円	バスケット2面	横浜ビー・コルセアーズ (B1) ホームアリーナ 横浜エクセレンス (B3) ホームアリーナ 横浜市の文化体育館再整備で建替
青森県青森市	(仮称) 青森市アリーナ	公設・民営		2024年7月	約51,000㎡	12,063㎡	約5,000人	約115億円 (15年の維持管理費含む)	(メイン) バスケット2面、バレー2面、バド8面 ほか (サブ) バスケット1面、バレー1面 ほか	青森市民体育館の再整備 青森ワッツ (B2) ホームアリーナ (V) 公式試合
長崎県長崎市	長崎スタジアムシティ・ハピネスアリーナ	民設・民営		2024年9月			約6,000人	(全体で約900億円)	バレー、バスケット ほか	ジャパネットグループがサッカースタジアムを中心に複合施設を民間で開発するプロジェクト アリーナは長崎ヴェルカ (B1) ホーム
福島県郡山市	郡山総合体育館	公設・運営は指定管理		2025年	9,078㎡		約5,000人	(全体で約98億円)		市立の体育館・陸上競技場・野球場・弓道場を全体改修 アリーナは福島ファイヤーボンズ (B2) のホーム
香川県高松市	あなぶきアリーナ香川 (香川県立アリーナ)	公設・運営は指定管理		2025年春	18,950㎡		メイン約10,000人 サブ約1000人	186億円		所管は県教育委員会
兵庫県神戸市	GLION ARENA KOBE	民設・民営		2025年4月予定	約23,700㎡	約32,300㎡	約10,000人			神戸新港突堤西地区再開発事業 株式会社スマートバリュー・NTTドコモ・NTT都市開発が開発 土地は神戸市所有
愛知県名古屋市	愛知県新体育館	公設・民営	BTコンセッション方式	2025年夏ごろ			約17,000人			名古屋ダイヤモンドドルフィンズ (B1) ホームアリーナ 愛知県体育館を移転新設、名古屋市が管理する国有地に整備 前田建設とNTTドコモがメインで開発 超高級ホテルとスポーツクリニックを併設
東京都江東区	TOYOTA ARENA TOKYO	民設・民営		2025年秋	27,000㎡	約37,000㎡	約10,000人			トヨタ自動車・トヨタ不動産・トヨタアルパルク東京の共同開発 アルパルク東京 (B1) ホームアリーナ
愛知県安城市	アイシンアリーナ	民設・民営		2026年10月ごろ	約31,000㎡	約25,000㎡	約6,500席	約130億円		シーホース三河 (B1) ホームアリーナ アイシングループ全体の福利厚生イベントや貸し出しで使用
兵庫県姫路市	手柄山スポーツ施設新体育館	公設・民営	DBO方式	2026年10月予定	(全体で42,695㎡)	43,773㎡	メイン約5,000席	約333億円 (15年の維持管理費含む)	(メイン) バレー：3面 (サブ) バレー：1面	柔道場、剣道場、競技用プール、レジャープール、多目的広場等を整備